精神科神経科プログラム

【研修目標（研修内容）・到達目標】

本研修では、外来における予診、陪席及び診療、病棟における診療、症例検討会、身体科との連携による診療等を通し、以下の６点を習得します。

1. 精神保健指定医（以後、指定医）、専門医、認定医の取得のために必要な症例を経験し、指導を受けながら必要な知識を身に付けます。
2. 精神保健福祉法を理解し、指定医、専門医、認定医になるための知識を身に付けます。
3. 精神保健や医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応するに必要な知識を習得します。
4. 身体合併症を持つ患者に対し、身体科との連携を取り総合的な治療方針を立てられるようになります。
5. 精神科リエゾン、緩和ケアなどのチーム医療を学びます。
6. うつ病、不安障害、強迫関連障害などの認知行動療法といった現代型の精神障害に関する治療技法を身につけます。

【レジデントＡカリキュラム（卒後３年目）】

１年を通じ、外来においては主任教授、准教授等の診察に陪席し診察の基本、内服薬の処方等について研修します。病棟においては指導医、上級医の指導の下、入院患者の担当主治医となります。さらに大学院へ入学し学位を取るための研究を行う事もできます。その場合、指定医、専門医、認定医の取得に際して不利にならぬよう配慮されます。

【レジデントＡ（卒後３年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、神経内科、放射線科、麻酔科・疼痛制御科、感染制御部、超音波センター、核医学・PET 診療部、リハビリテーション部のいずれかで、希望により３ヶ月間研修を行うことができます。

【レジデントＢ・Ｃカリキュラム（卒後４年～５年目）】

卒後４年目以降は、上級医・指導医と共に入院患者を担当すると同時に外来診療を開始し、より実践的に精神科医療の流れを組み立てるための研鑽を積みます。その間に兵庫県または大阪府内の関連病院にて非常勤医師として週１日勤務します。

卒後５年目以降は、上記業務に加えて、精神保健指定医取得に向けてのレポート指導や、日本精神神経学会精神科専門医取得のための過去出題例の検討など全般的な指導を重ねていきます。

【主任教授回診、症例検討会・カンファレンス、脳波判読会、勉強会】

病院助手、レジデントは毎週水曜日午後の教授回診、症例検討会・カンファレンス、月１回の脳波判読会、随時開かれる勉強会に必ず出席します。

【卒後６年目以降の体制】

大学院にて研究を行いながら、レジデント・研修医の臨床・研究について指導にあたります。大学院に進学をしない場合は院内のポストを得て、指導にあたります。また、関連病院の常勤医とし

て勤務することもできます。

【主要な学会】

日本精神神経学会（専門医取得のためには学会から認定された施設において研修する必要があります。本院は日本精神神経学会から認定されています。）

日本老年精神医学会（専門医取得のためには学会から認定された施設において研修する必要があります。本院は日本老年精神医学会から認定されています。）

日本総合病院精神医学会（専門医取得のためには学会から認定された施設において研修する必要があります。本院は日本総合病院精神医学会から認定されています。）

日本神経精神医学会

日本認知症学会

日本神経病理学会

日本児童青年精神医学会（認定医制度があります。）

【関連病院】

明石土山病院、有馬高原病院、揖保川病院、大村病院、加茂病院、楓こころのホスピタル、仁明会病院、宝塚三田病院、三田西病院、美原病院など

【指導医】

主任教授：松永　寿人	教　授：湖海　正尋	講　師：林田　和久
講　師：清野　仁美	講　師：山田　恒	助　教：西井　理恵
助　教：前林　憲誠	助　教：宇和　典子	助　教：吉村　知穂

【研修統括者】

講師・病棟医長：清野　仁美

【問い合わせ先】

清野　仁美　　TEL：0798-45-6051